

『56歳の夏』寸評

- ・各パートの出番がよく整理されやりたいことが明確
- ・また線的処理もうまくいっている
- ・メロウな雰囲気を書いていく夏のおもいで
- ・ピチカートとトレモロが弦楽四重奏らしくてこちよ
- ・きょうみぶかいタイトル (←毎年書きつづけられそう)

完成度をさらに上げるために

- ・ m.2 メロディがうもれてもったいないのでチェロを整理



- ・ m.15 *rit.* → *rit.*

- ・ 曲調とテンポがスラーをもとめているのにどこにもついてないのは奇異

- ・ m.15 b.2-3 Va. 二分音符でよい

- ・ *elegiaco* (哀歌調の) だとやや重たい *calmando* 穏やかな とかどうだろう

- ・ ♩ ♪ このリズム型が多用されやや耳につく
使いやすいかもしれないがもう一工夫したい

- ・ m.13 Vn.I 全音符でよい

- ・ m.13 Vn.I, II 2小節以上続く休止後はあらためてディナーミクをつけよう

- ・ m.8 b.1-2 Vn.I 付点二分音符でいいのでは

- ・ m.14 和声が釈然としないたとえば→

- ・ 曲のテンポがゆっくりなので
トレモロは ♯ にしよう



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

斬新な視点からのタイトル◎。

持庵勉